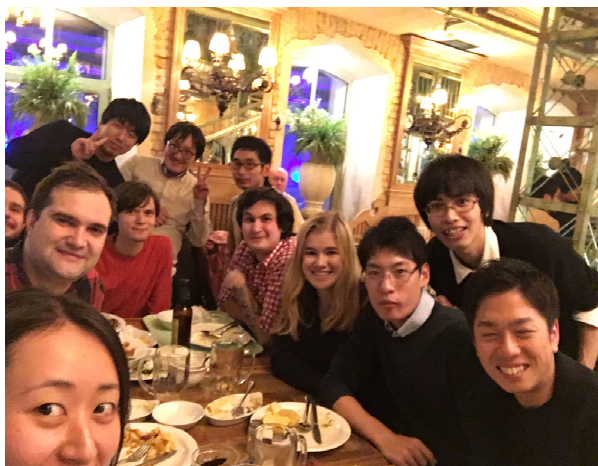


モスクワ合同ワークショップ体験記

道根百合奈（D3, 米田研究室）

10月初旬のモスクワはちょっと観光シーズンを過ぎたくらい、まだまだ本格的な寒さはこれからという時期でのワークショップでした。参加者は学生がメイン、研究分野も近からず遠からず、ということで普通の学会や研究会とはまた違う雰囲気。どちらかというと談話会のような、終始ゆったりとした感じで楽しいものでした。



午前中+夕方くらいまでは真面目な研究発表会の時間です。質疑はかなり活発でした。分野が離れているといっても、やはり近い年の学生の発表です。興味も持てるし、ちょっと逸れた質問や少々英語に難があってもまあ恥ずかしくないよね、という雰囲気が自然に作られていて、とても良かったと思います。

レベデフ研究所内の実験室見学もさせていただきました。彼らはクリーンルームに土足で入ります。服もそのままです。なかなか日本の常識を超えてくる感じ。でも、とても面白い説明をしてもらえました。研究分野が離れている日本の学生達も楽しめたようです。

ワークショップが終わると、何人かの学生に連れられてモスクワ観光へ。先生方は別行動です。かの有名な赤の広場に始まって、モスクワリバー、航空宇宙博物館、 Gum（という大きなショッピングモール）、歴史的建造物が立ち並ぶ公園（名前忘れた）、などなど、3日間にも関わらずものすごい数の場所に行きました。移動手段は基本は徒歩。歩いて、歩いて、まあ歩きます。一日10キロぐらい歩いたんじゃないでしょうか。彼らはとてもサービス精神というか、ホスピタリティが旺盛です。とにかくモスクワ中の観光地を案内してやろうという気概を感じました。これが、とても楽しく、遊び疲れて毎晩12時にホテルに帰ってきて爆睡。そして次の日はまた真面目に研究発表会。ロシアの文化やおいしいご飯も教えてもらい、とにかく毎日とてもいい経験をさせてもらえました。

もちろん学生や先生方とのコミュニケーションは英語です。ただし、カタコト英語でも大丈夫。みっちり3日間（文字通り）、彼らと過ごしていると、だんだんと緊張感もなくなって、仲良くなれます。是非来年、参加してみてください。

